

THE INTERNATIONAL JOURNAL OF NARCOTICS ANONYMOUS





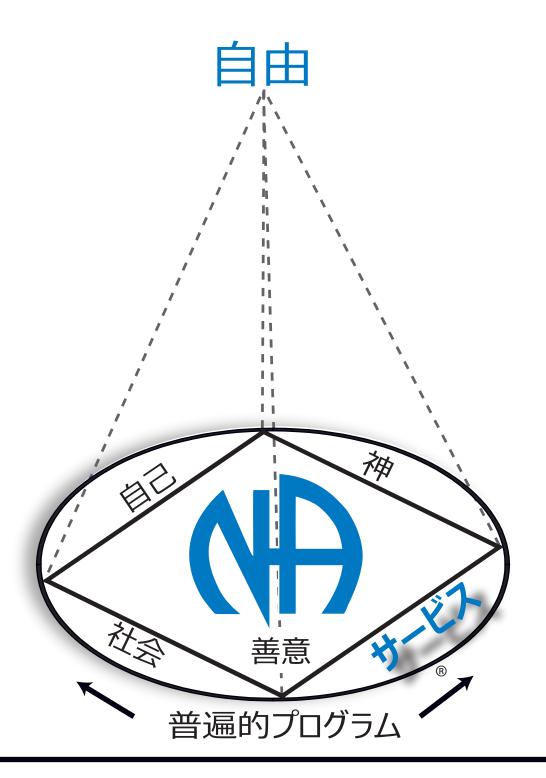








JULY 2011 ● VOLUME TWENTY-EIGHT ● NUMBER THREE 2011年7月発行/第28号/3号



- ◆「私たちの未来」に投資しよう ◆ シリアのダマスカスより
- ◆サービス ベーシックス (サービスの基本) ◆ 金曜の夜、マンチェスターで
 - ◆ FIPT (フェローシップの知的財産委託) ◆初心に返る



世界中で読まれている NA の 定期刊行物

NA Way マガジン は、ナルコティクス アノニマスのメンバー のための雑誌であるため、英語、ペルシャ語、フランス語、 ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語 で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとり のメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することで あり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、 現在 NA で 問題となっていることや世界中の NA メンバーのだれにとって も見過ごせないイベントなども取り上げている。 編集スタッフ はこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事を はじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑 誌にしようとするのはもちろん、 現在行われているサービスや コンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでい る。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからに は何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっ ても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求 も消え、新しい生き方を見いだすことができる』という NA の 回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

> NA World Services, Inc. PO Box 9999 Van Nuys, CA 91409 USA Telephone: (818) 773-9999 Fax: (818) 700-0700 Website: www.na.org

NA Way マガジン では、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物 によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていた だきたい。 回復するなかでの経験はもちろんのこと、 NA の さまざまなことに関する意見や、これからの課題などについて も投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有 権があるものとされる。 購読の予約、 編集に対する意見 のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせい ただきたい。

NA Way マガジン は、NA メンバーがそれぞれに自分 で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。こ こにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、 ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティ クス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受 け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネッ トからNA Way マガジンを配信することを希望する場合に は、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.org に e メールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421) 、NA Way (The NA Way) 、 ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous) 、 この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のト レードマークとして商標登録されている。NA Way マガジン は、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、 年に4回発行される。

編集者から、 ひとこと

世界は、ほとんど夏一色。キャンプシーズンの到来だ。といっても、わたしは、そんなにキャンプが好き なわけではない。クリーンになって6年目に、わたしは当時の夫とふたりでNAのキャンプに参加した。現 地に着いたのは、夜の10時30分。乗ってきたトラックのヘッドライトをたよりに、ふたりでテントを張った。 それがまた、ガレージセールで手に入れたどっしりと重いキャンバス地のテントだった。そして次の日の夜は 地元の病院に泊まることになった。バレーボールでハメをはずしすぎて怪我をした(夫が軽い脳しんと うを起こした)うえに、全身ウルシにかぶれてしまったのだ。担当医からは、長年医者をやって、こんなひ どいかぶれ方は見たことがないと言われる始末。(しかも、このときわたしは妊娠中の身だった)。それ 以来、キャンプとはほとんど縁のない生活をしていたのだが、昨年になってNAの仲間たちと大勢でキャ ンプに行った。6月のある週末。すごく暑くて、空気はカラカラにかわき、風が吹きまくっていた。キャンプの 場所は、LA(ロスアンジェルス)の中心から北に60マイルほどのところ。木が1本しかなく、埃だらけ で、ダニの幼虫が大発生していた。(ダニの幼虫がどんなものか、知らない人がうらやましい)。

それで、なぜ、こうして原稿を書いているわたしのデスクに、キャンプの荷物リストがあるのか。なんと いうか、キャンプって、わたしにはNAのサービスみたいなものなのだ。たしかに大変だし、ウンザリもする 。でも、サービスに関わることやキャンプに参加することによって、わたしたちは力を合わせてひとつのことに 取り組み、お互いの経験ともてる力をわかちあって笑いのうちにきずなが結ばれていく。だから、ミーティン グの終わりに輪になって祈るときやキャンプファイヤーを囲むときには、心がひとつになっている。そうやって わたしたちは、みんなで一緒に何かをやり遂げたという手応えをつかむのだ。

わたしも、今週末はホームグループのキャンプへ行く。場所は、サンタバーバラの北。虫よけについて は、わたしにまかせてほしい。そして、みんなもそれぞれに、これは自分の担当と言えるものがあるはず。 そこまでしても手にあまることがいろいろあるだろうけど、みんなで乗り越えれば、それも前回のようにいい 思い出になる。この週末の話が出るたびに、やはりみんなで笑いころげるだろう。みなさんにもお話しで きるのを楽しみにしている。

とりあえずは、今月号を楽しんでいただきたい。NA Way マガジンもまた、献身的なボランティアと 編集スタッフ、そして経験と力と希望を進んでわかちあおうとする仲間たちとが、サービスの精神によって つくりだしている。だから今月号では、サービスにしっかりと目を向けよう。

ド・」(エディター)

今月号の掲載記事

<u>特集記事</u>		<u>「私たちの未来像に投資しよう」</u>	10
● 初心に返る	3	サービスシステムプロジェクト	12
わかちあい	_	World Unity Day	13
回復の旅路ステップ 2	5 6	<u>FIPT</u>	
ステップ 7 によって一人の	O	(フェローシップの知的財産委託)	_ 14
アディクトが経験したこと ダマスカスからの便りNA のサービスが自分にはなぜ必要か サービスの基本	7	グループ紹介	15
	7	Living Clean Update	16
	8	NA のホームページと記録	17
		<u>Calendar</u>	18
	9	NAWS Product Update	19

NA Way マガジン では、読者のみなさんからのお便りをお待ちしている。掲載された記事に 対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を 示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、 そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住 所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がな いかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。







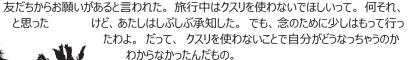


第 34 回 N A ワールドコンベンションがもうすぐ始まる。 今回は、 カリフォルニアのサンディエゴで開か れるとあって、あたしは年明け早々の1月3日にインターネットで予約手続きを済ませた。 そしてあ らためて、これまでの奇跡のような回復のことや、16年も経ってサンディエゴに戻ることが自分にとっ てどのような意味をもつのかについて、話してみたくなった。

1995年1月。 あたしはバイクチームのコネチカット支部リーダーから、 カリフォルニアに行って西海 岸支部のリーダーに会うように命じられた。「ちょっとした用事」と言われただけで、 なんだかよくわから ないけど、ロスアンジェルスまで行けば空港に迎えが来ているということだった。 家族や友人たちに別 れを告げ、あたしは飛行機に乗った。 こんなことも、もうこれっきりにしたかった。 しっかりやりとげれば、 生きているのがイヤになるような生活ともおさらばできるだろう。あたしはそれまでにも、クスリはヤバイ と思ってすっぱりとやめたことがある。 あの時点で、 こんな生き方をしていたらダメだと思ったんだ。 あた しが別れを告げたとき、家族や友人たちは、あたしの生きている姿を見るのはこれが最後かもしれな いと思ったらしい。あたしはあたしで、クスリをやり過ぎてひどい目にあうか衝突事故を起こすかして、 一巻の終わりってことになるんじゃないかって思ってた。 旅のことはほとんどがぼんやりとしている。 ビッグ・ ベアーの近くにある砂漠からはじまって、最後はカリフォルニアにいた。それが、クリーンになる3日前だ。 あたしはサンディエゴのタトゥー・ショップ (いれずみの店) にいて、そこでタトゥーをしてもらっていたら、 コネチカットに帰る飛行機に乗りそこねてしまった。家に帰りついたことも覚えていないけど、このときに はもうあたしのハイヤーパワーによってすっかりお膳立てができていた。 まさに、 あたしの人生は変わろう としていた。

カリフォルニアに行く1ヵ月半前のこと。 バイクを走らせる資金集めのイベントで、 ひとりの女性があ たしの人生に登場した。最初のスポンサーになるひとだった。あたしたちは、イベントの行われた日の 終わり近くになって出会い、ふたりとも以前に同じタウンハウス (団地) に住んでいたことがわかった。 あたしは自分のバイクにまたがり、このひとは連れのバイクの後ろに乗って、 あたしをイベントに誘ってく れた連中と一緒にかっ飛ばした。それで乗りつけたのがバーじゃなく、コーヒーショップっていうのは、がっ くりきたけどね。

このひととはすぐ仲良くなって、NAのメンバーだと打ち明けられた。こうして回復の種はまかれたのだ。 それから1ヵ月もしないうちに、みんなで週末にニューハンプシャーでバイク・ツアーをしようということになっ た。みんなといっても、あたしと、このひとと、例のイベントでこのひとを後ろに乗せていたバイカーの3人。 これがまたいい男で、やはりNAメンバーだった。 (いい男がいるってことは、一時しのぎにはもって こいだった。使わないでいるいい気分転換になったしね。でも、そのうちに、男を利用するのもクスリ でしかないってわかるようになった。) ニューハンプシャーに出発する前に、この新しい女



出発の当日になって、あたしのバイクを積んでくれるはず だったトレーラーの運転手が逮捕されてしまい、あたしは自分 のバイクに乗れなくなった。 クスリなしでどうやって怒りを処理 すればいいのかわからず、あたしは使ってしまった。このとき、 はじめてスピリチュアルな目覚めがあったんだと思う。 それま で感じたこともないものを感じたから。 罪悪感ってやつよ。 そ れで、わけもわからないまま、使ってしまったことを例の女友

だちに告白したの。そしたらもう、この週末はずっと使わないことにす るしかないじゃない。 すべてが神のはからいのうちだった。

連れの2人 (この女友だちと例のいい男) は、あたしがこれか らカリフォルニアに行くのを知っていたので、 カリフォルニアのNAにいる メンバーの名前と電話番号を教えてくれた。 あたしはカリフォルニアに 着いて、そのメンバーに連絡をした。しなくちゃいけないからではなく、 したかったからよ。この男性との出会いはすごく楽しいものだったし、 あたしの2回目のスピリチュアルな目覚めになったと思う。ふたりで海 岸に座っていたら、 涙ながらに自分のことを話してくれたの。 あたしの





人生とそっくりだっ たわ。このときはじ めて、クリーンにな るという考えがあたし の頭をかすめた。こ んなふうにつつみ隠さ ず正直な気持ちを話し てくれたことで、 心をゆ さぶられたの。 でも、 相 手が女性だったら、あた しはこれほどの衝撃を受け たかどうかわからない。 あた しは昔から男まさりで、か わいげもないし、ほかの女 の人とはちがうと思ってい た。 それがどう、 こうやって 男の人と海辺で語り合うな んて、まるで恋愛映画の ようじゃない。お約束どお りのハッピーエンドで、ふ たりは恋に落ちたってわ け。でも、あたしは用 事をすませに戻らなくちゃ ならなかった。だって、 そのためにカリフォルニア に来たんだから。あたし たちは、ふたりの気持 ちは本物だから電話や 手紙のやりとりをしてい つか一緒になろうと誓っ た。そしてそれっきり、 この男性と会うことはな かった。

無事に家に帰り着い たあたしは、またバカ 騒ぎをしに出かけるよう になり、7月11日の 夜にぶっ飛んで倒れた。 翌日の午後に意識が 戻って、ひどい恐怖感 を覚えた。 それはクスリ を使っても消えなかった。 コーヒーを飲んでもぬぐえ ない。やせ我慢で、ちょっ とした受難者を気どってい るうちに、とことん自分を 罰せずにはいられなくなっ てしまった。 とっさに 22 口 径の銃をつかんだ。 死に たくなんかなかった。でも、 心が安らぐひまがないんだも の。もう、どう生きていい のかわからない。こういう自 分を痛めつけるためにはどこ を撃てばいいのか。 死にた くないし、身体が不自由に なるのもいやだ。 どうすれば いいのよ。 あたしは身をよじっ て泣きじゃくりながら、突然、 あの女友だちが言ってたこと

を思いだした。 N A につながれば自由になれるって。だから、 8 年も使わないでいるんだ。例のいい男も 2 年間使っていないし、カリフォルニアで恋した相手だって使わないで 2 年になろうとしている。だったら、あたしだって N A でうまくいくんじゃないかな。あたしは女友だちに電話した。その晩は女友だちのところに泊めてもらい、次の日にはわたしの家で片づけを手伝ってもらった。その次の日に、あたしは治療施設に入所した。そして施設から出された日に、あたしはこの女友だちにスポンサーをお願いした。それからはずっとクリーンでいる。

だけど、いざクリーンでいるとなれば、ちょっ とやそっとの変化ではすまない。 あたしは根 底から変わらざるをえなかったし、 なかには多 くの痛みを経験せずには変われないこともあっ た。 ムカついてブツクサ言いながらも、 あたし は自分のしたことの結果を受け入れて生きて いくことを学び、何があろうと使わなかった。 でも。あたしの場合はね、変わることが辛い んじゃないの。変わることに抵抗するから、こ れ以上耐えられないというほど苦しくなるのよ。 それでもとにかく、 ホームグループをもってそ の一員として役に立とうとし、ホーム以外のと ころでもサービスにしっかりと関わり、自分なり にステップを実践して、 ミーティングにきちんと 出ること。それであたしはうまくいったわ。回 復の道で「現実」にぶちあたってメゲることも ないわけじゃないけど、あたしの人生は夢見 ても無駄だと思っていた以上のものになってい る。 N A で回復するということは、 ホームグ ループだけでなく住んでるところや社会にも居 場所ができ、国のなかや世界のいろんなとこ ろにも仲間とのつながりが生まれていくことなの よね。あたしは好奇心や感謝の気持ちを失 わず、広い心でいられるように努力している。 だって、あたしが助ける相手はハイヤーパワー が決めることだから、いつ出会うともかぎらな いでしょ。

あたしはこうしてずっと学んでいきたいし、そういう気持ちを失わずにいたいものだわ。 反応するんじゃなくて、きちんと対応できるといいな。 そうすれば、性格がゆがまないうちに欠点を手放せるじゃない。 あたしは、 これからもいろんなところでひとつでも多くの奇跡を目にしてみたいし、 だからこそ、 サンディエゴで世界中の仲間と会ってみたいわ。 そうやって初心に返るのよ。 例のタトゥー・ショップもまだそのままあるから、 ひょっこり立ち寄ってタトゥーをしてもらうかも。 それで、 この話にもめでたく落ちがつく。

あたしがクリーンになったのは、1995年7月13日のことだった。

アナ・G (アメリカ合衆国/コネチカット)



回復の旅路

わたしはNAにつながったことで、 まったく思いもよらない旅をすることになった。 初めて読んだNAの 文献には『さらなる気づきが与えられる』と書かれていたけれど、まさか、身体にも、心にも、スピ リチュアルな面にも気づきがあるのだとはわかっていなかった。当時のわたしは、今さら学ぶことなんてそ う多くはないと思っていた。それでも、自分が素直に学ぼうとし、心の奥深くにある見たくないものにも目を向けようとすれば、つねに学ぶことはあるし、そうやって学び続けることで、わたしは回復がもたらすさまざまな奇跡に心を閉ざさないでいられるのだ。 今年になってわたしは、アジア パシフィック フォー ラム(APF)に出席するためにバーレーンへ行った。そこからアラブ首長国連邦 (UAE) とト ルコをまわって地中海に向かい、マルタでのヨーロピアン デリゲート ミーティング (ヨーロッバ代表者会 議) に参加した。その際には、それぞれの場所でリカバリーミーティング (回復をわかちあうミーティ ング) とサービスミーティングに出席しながら、何らかのサービスに関わっていた。 もちろん、 バーレー ンではきちんとサービスに関わる責任があってのことだが、 それ以外の場所でも何かしら N A の役に立 ちたいという気持ちがあってそうした。 わたしは裕福というわけではないけれど、 一定の収入があるので 貯金をし、あとで金欠になるのを承知で旅行に行く。このような人生を送れるわたしは、とても恵ま れていると思う。そこで、今回の旅で心に残ったことをいくつか書きとめてみた。

- ハワイからサウジアラビアまで、アジアと中東にある 20 の国や地域のNAがバーレーンに集まり、 ひとつのテーブルを囲んでNAという仲間の集まりを広めるプランを練っていた。 対象となる地域 は、ブータンやオーメン、UAE、アフガニスタンと挙げればきりがない。
- 〉砂漠の夜にはほどほどを知らないアディクトたちとレゲエミュージックにのって思いっきり踊りまくった。
- APF (アジア パシフィック フォーラム) がNAWS (NAワールドサービス) に金銭面 》でお返しをするのを見ることができた。これは、 完全に自立することを学んでいる姿にほかならな い。
- UEA (アラブ首長国連邦) で参加したミーティングでは、人生におけるさまざまな試練に 分ついてわかちあわれていて、どこも同じだと思った。そこで出会ったふたりの素晴らしい女性メンバー たちは、わたしに手をさしのべて進むべき道を示してくれた。
- トルコでは、文献翻訳委員会に出席させていただいた。ひとつの単語 (「信仰」) の意味を めぐって白熱した議論が交わされていた。なにしろ、トルコ語には「信仰」にあたる言葉がない ので訳すのがたいへんだ。このあとモスクという寺院を何カ所か案内してもらい、凍てつくようなイ スタンブールの寒さのなか、つながったばかりの仲間たちとお茶を飲んだ。
- トルコで交通事故にあった。 レッカー車のドライバーに話をつけるため、 仲間に電話して通訳をし アルコ C 文 世 尹 は C に シンパン てもらった。 ちょっとケチがついたが、 気持ちを切りかえた。
- マルタでは、 ヨーロピアン デリゲート ミーティング (ヨーロッパ代表者会議) にオブザーバーで参 ↑加し、∃ーロッパを中心にさまざまな地域から集まった代表たちの話しに耳を傾けた。 APF (ア ジアパシフィックフォーラム) との類似点、回復の継続、そしてわたしたちが第一の目的によっ て心をひとつにすることなど、いろいろと考えさせられるものだった。
- 同じアディクトでも生まれ育った環境がちがえば、 言葉や信じるものがさまざまに異なる。 でも、 そんなことはNAの愛の原理によって問題ではなくなる。 ともに学び、わかちあい、笑って、泣いて、 意見をぶつけ合う・・・・・・そのあとでは、いつも、わたしたちの心はひとつになっている。

こうして同じ目的をもって世界中から集まった仲間たちと出会い、交流することで、 いろんなことを 教えられた。謙虚さ、共感、 与え合うこと、 希望。 そして何よりも大切なのが、 ひとりぼっちでは ないということ。 わたしが回復の旅に出てから 23 年。 人生の浮き沈み、 喜怒哀楽、 さまざまな健 康状態を経験して「人生をあるがままに生きること」を学んだ。 それでもまだ、 学ぶことがあるなら素 直に教えてもらおうとしていると、思わぬいただきものをする。それこそが、わたしたちがお互いに与え あうものなのだ。 N A という仲間の集まりとそのスピリチュアルな原理によってわたしは謙虚になり、 ひと りの旅人としてこの地球上で信じられないような旅をさせてもらえる。そして、そのときわたしは自分の 内面で、NAの原理を心のよりどころとするスピリチュアルな旅をしているのだ。このような旅の道連れ となってくれている仲間たちに、心から感謝する。

キミー・Y (アメリカ合衆国/ハワイ)

Electronic subscribers can click here to see Kimmy's photo of a Turkish NA meeting place.

• • • • • • • • • • •

ステップ 2

みんなは、「マジカル・アイ」って知ってるかな。 新聞なんかによくのっているパズルだ。 ある絵を じっと見つめるうちに立体になったり別の絵が浮 かんできたりするだろ。 ぼくは、 ダメ。 どうやっても、 何も見えてこないんだ。 でも、 ある日、 絵の下の方に何か書いてあるのに気づいた。 パズルの手順だ。いつもなら、そんなものにい ちいち従ってられるかよと無視してた。 それがこ のとき、せっかく気づいたんだ、ということは『ステッ プ2』の「心を開く」という原理を実行するチャ ンスかもしれないと思った。 そしてなんと、 手順 どおりにやってみたら、目の前に絵が立ちあがっ てくるじゃないか。 こんなことがあって、 ぼくには ステップ2がこれまでとは違うものに見えてきたん だ。

NAにつながってクスリに手を出さなくなって も、ぼくはつい「現実離れした」ことをやってし まう自分に気づいた。わからないことがあると、 適当につじつまを合わせ、いつの間にかそうに ちがいないと思いこんでいたんだ。 そういう人間 が、どうやって「クスリを使うのをやめ、使いた いという欲求をなくし、新しい生き方を見出す」 のか。それについてNAでは段階的な指示を 与えてくれる。そりゃ、ぼくだって自分の思い通 りにやりたかったさ。でも、そういうぼくだからこそ、 NAのやり方に「従うこと」が解決策になるか もしれないと気づいたんだ。

狂気というのは、 何度も同じことをくりかえし ているのに、そのたびにこんなはずではないと思っ ている状態だ。NAではそう教えている。 だか ら、回復のチャンスにかけるなら、これまでとは 違うことをやる必要がある。それがぼくの場合 は、指示に従うことを学ぶということだった。で も、NAで指示されることは、簡単でわかりきっ たことばかりだ。

- 定期的にミーティングに出席すること。
- スポンサーと一緒にやること
- サービス活動をすること
- ステップを実行すること

こう言っちゃなんだけど、ぼくはずっと自分がリー ダーになったつもりでいたんだ。 でも、 真のリー ダーならむしろ、 きちんと指示に従うべきときを 心得ているものだ。だから、しっかり回復してリー ダーのつとめを果たせるようになろうとしたら、 従 い方や降伏のし方を学ぶことが必要になる。つ まり、「マジカル・アイ」のパズルが解けるよう になったときのようなものさ。 降伏して手順に従 うことができたとたんに、新しい世界が立ち現 れてきた。 それによってぼくは、 NAのプログラ ムと、プログラムによってもたらされるものを信じ るようになっていった。 自分のやり方にとらわれ ることをやめ、 N A で示される新しい道にそって 進んでいくようになると、人生はこれまでまったく 知らなかった一面を見せるようになったんだ。

アノニマス (カナダ/マニトバ) 『マニトバ エリア ニューズライン』の許可を得て 2010年11月号より転載



『鏡』ミシェル・G (アメリカ合衆国/カリフォルニア) 『ソノマ カウンティ NA ボイス オブ リカバリー』の許可を得て 2011年3月号より転載

Electronic NA Way subscribers can click here for a printable version of Michelle's artwork.

ステップ 7 によって ひとりのアディクトが 経験したこと

ステップの6と7は、わたしが回復の道を歩んでいくうえで大きなターニングポイントになった。わたしは、ステップ6で自分の性格のまずいところを明らかにし(家族や友人たちの親身な協力があればこそだ)、それを欠点と認めたところで、もういつ神に取り除いてもらってもいいという気持ちになった。そして、ステップ7で心を入れかえるため、スピリチュアルな原理のなかでそれぞれの欠点とは正反対のものを確認した。

スポンサーからはとんでもない課題が与えら れた。それは21日間にわたって、毎日1 つ、欠点を明らかにすること (欠点がいくつ あろうと、課題で明らかにするのは1日に1 つ) だった。具体的に言うと、欠点がその 日の自分の生き方にどのように表れているか、 それが表れるとどんな気持ちになるか、 それと 正反対のスピリチュアルな原理は何か、そし て、欠点ではなくスピリチュアルな原理によっ て行動した場合には、ものごとがどのように 違ってくるか、そういうことを確認する課題だっ た。それによって、欠点のなかでもよく行動 に表れてしまうものがいくつかあり、場合によっ てはひっきりなしに同じ行動をとっていることに 気づいた。だから、このような欠点はいちば ん気をつけなければならないものとみてよかっ た。そしてさらに、感情につづいて生じる気 分にも欠点がひそんでいることがわかった。 わ たしはこの 21 日間の課題をこなしていくうち に、自分が生きるうえであまりにも当たり前に なっていたことが、実は欠点なのだとわかり、 これで自分は変われると思ってワクワクするよ うになった。 まさに、 はじめてクリーンになり、 クスリ漬けの人生から解放されたとわかったと きと同じ。 わたしの心をがんじがらめにしてい た欠点から自由になれるんだ。わたしはもう、 生きているのが空しくなるような思いをせずに いられる。それはわたしの欠点のいくつかがも たらすものだったからだ。

わたしには今、スポンシーが2人いて、どちらもこの課題に取り組んでいる。2人からは毎日、Eメールが届く。そこには、それぞれに自分で明らかにした欠点と、その欠点と正反対のスピリチュアルな原理が書かれている。それによって、わたしは自分が7番目のステップで経験したことを思い出させてもらえるので、自分の経験を2人とわかちあうことができる。こうしてNAで学んだことを大事にしてわかちあっていれば、わたしの感謝の気持ちは伝わるのだ。

アノニマス (アメリカ合衆国/カリフォルニア) サウスウェスト エリア発行 『NA クリーンタイムズ』から 許可を得て転載

ダマスカスからの便り

やぁ、みんな、元気かい。俺は、今日 (2010年12月13日) で7年間にわたる回復の旅を全うした。それには神の恵みがあり、NAの仲間たちに助けられながらの努力もあった。家族や友人たちにも、神にも、そして俺を支えてくれるNAの仲間たちにも、心から感謝している。

今さらにして、俺の人生はみじめさと混乱に満ちていたのがわかる。俺はこの病気によって死んだも同然だった。ほんとうにメチャクチャにされてしまったんだ。そんな自分が、使うことをやめられるとはまったく思いもしなかった。ハイになるために手当たり次第使いまくっていたんだからな。そんなアディクトがこうやってクリーンになれたなんて、ウソのように思えることがある。

今になって、回復の道を歩みはじめたばかりのことを振り返ると、自分のことなのに笑ってしまう。おかしなことばかりやってたな。なにせ性格が問題ありだったから、それが災いして自分を見失うことも少なくなかった。俺のいちばんやっかいな問題は、思いつめるところで、そうなるとやみくもに行動してしまうんだ。でも今はクリーンだから、あとで悔やむような行いはしていない。どんなつまらないことからも学んでいる。つまり、成長しつつあるってことだ。こうやってクリーンにしてもらえたことを無駄にはしたくないからな。

回復は、俺にとって必ずしも容易なことじゃなかったが、ひとつだけはっきりしていることがある。 クリーンでいつづければ、 最悪の状況でも何とかやっていけるってことだ。 それは、 これまでにもう何度か経験してきた。 この 7 年の歩みのなかでは仕事や大切な人を失ったし、 人にだまされ、 留置所で一晩を明かし、 事故にも遭い、 無一文になったりもした。 そして、 友情が台無しになったことや男女関係が泥沼になったこと、 裏切られたり、 いいように操られたり、 と数えあげればきりがない。

もちろん、生きていればいいこともたくさんあった。たとえば、すばらしい妻といい娘がいて、きちんとした家庭が築けて、すばらしい仕事も与えられたし、旅行もした。そして、NAのコンベンションにも何度か参加し、最高の友人であるNAの仲間たちとの出会いもあった。それによって俺は、スピリチュアリティ、正直さ、自分を大事にすること、人の役に立つこと、手放すことなどを学び、サービスに関わる機会も与えられたというわけだ。

今現在は、ものごとがうまくいっているし、俺は人生のどんな瞬間も楽しんでいる。NAの仲間たちにお礼を言いたい。そうそう、俺は生まれてはじめて雪が降るのをこの目で見た。雪のなかを歩いて仕事に行ったんだ。信じられない体験だった。雪なんて、これまで映画やテレビでしか知らなかったんだからな。

たとえ、クラブに行ったり飲みに行ったりするのが当たり前の街にいても、クリーンであり続けることはできる。それは、自分で経験したことやNAの仲間たちの支えによって教えられてきたことだ。ただ、自然な感情として、旅をしているとどうしても家族が恋しくなるし、娘に会えないのがたまらなくつらい。俺は今、ダマスカスという世界で最も古い町にいるんだが、NAミーティングが見つからなくて困っている。だから、NAWayにEメールを書いたんだ。みんな、ここまで読んでくれて、どうもありがとう。

キラン・K (ネパール/ダマク)



編集記: キランは、2011年5月のはじめにシリアから家族のいるネバールへと旅立った。その時点でキランの知るかぎりでは、ダマスカスにはまだNAミーティングがひとつも存在していなかった。

NAのサービスが 自分にはなぜ重要なのか

毎週毎週、新聞やテレビのニュースでは、アディクションという病に冒された人々のことが話題になる。 そして、私たちの社会では今でもまだ、「一度クスリに溺れたら、二度と抜け出せない」と思いこん でいる人が多いのだ。だが、こんなデタラメは、 NAでは通用しない。ありがたいことに私たちは自 分なりに理解する神がついているから、絶対に回復するのだ。

NAでは、新しいメンバーほど重要な存在はないという意見を耳にすることがある。 私たちは、 新 しいメンバーたちによって「自分が使っていたころのひどい状態」がわかるからだ。もちろん、メンバー それぞれに考えがあって当然だが、 N A の文献では『自分が手にしたものは、 人に手渡さないかぎ り自分のものにはならない』という理由で、新しいメンバーほど重要な存在はないと教えている。 私も NAメンバーである以上は、心が狭いわけでも見る目がないわけでもない。また、社会の一員とし ても、世の中で何が起きているかはわかっている。 だから私は、 新しいメンバーにアディクションという 病気の恐ろしさを再確認させてもらう必要はない。 むしろ、 私にとって本当に必要なことは、 N A と いう仲間の集まりに役立つ存在となって一生懸命に尽くすことである。それはつまり、自分が手にした ものを自分のものにして、回復の道を歩むひとりのアディクトとして成長するためであり、社会人として のつとめを果たしながらよろこんでハイヤーパワーの道具となるためなのだ。

NAは、秘密の集まりではない。どういう集まりで、どんな活動をしているのかと に広く伝えて知ってもらう活動は、 NAメンバーのだれにとってもやりがいのあるもの だ。実際に、このようなPI/PR (広報) のサービスに携わるメンバーたち は、NAのことを社会に伝えるうえでさまざまな責任に目覚めるにちがいない。 そ してPI/PR (広報) は、メンバーのアノニミティにふれずにNAに関する 情報を伝える方法としても優れている。 私は、 N A の原理をいかせるということ で、このようなサービス活動から恩恵を得ている。 まだ苦しんでいるアディクトた ちにNAのメッセージを届けることができ、 なおかつ、 クスリから自由になりたい と望む人々には回復のチャンスがあるということを社会に認識してもらえるのだか ら、努力のしがいがあるというものだ。そしてまた、新しいメンバーがつながる ことで私は新たな気づきを重ねていけるのだから、PI/PR (広報) ビスに関わることは、自分が手にしたものを自分のものにするためにも重要な ことになっている。

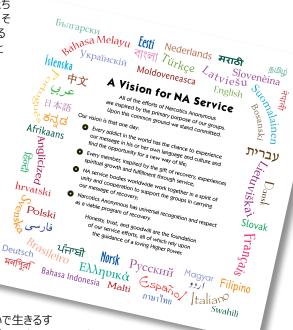
ここでは、私たちのPI&PRサブコミッティ (広報小委員会) が、 N Aミーティング用の看板を出すことについて、ある役所の代表者に話し をしたときのことをお伝えしよう。 私たちの方から N A がどういう集まりであ るかを説明すると、この担当者はNAの第一の目的を理解して、さつ そくNAの看板に寄付させてほしいと言った。そこで、お気持ちはありが たいとしつつ、NAは経済的に自立しているので外部からの寄付を受 けつけていないことをお伝えした。この担当者はぽかんと口を開け、そ のままちょっとうつむいていた。 私たちが好意や名声のようなものを欲し ていないことが信じられなかったからだ。そして、その場で看板をだす

ことを許可したうえで、あらためて、本当にこれだけでいいのかとたずねた。そ れで私たちは、もし薬物の問題を抱えている人をご存じなら、薬物を使わないで生きるす べを見出した仲間たちの集まりがあることを教えていただければ幸いだとお伝えした。そして、NAのミー ティングにもお誘いしたので、 この担当者にはNAの効果についてわずかなりとも理解を深めてもらうこ とができた。

私はしょせん、 NAにつながったことを感謝して回復の道を歩むアディクトのひとりに過ぎない。 もと もと、欠陥だらけの人間だ。それでも、NAのために自分ができることをして、私たちの未来像を現 実のものにできればいいと願っている。

マルセル・C (ブラジル/ブラジリアーDF)

いうことを社会



サービス ベーシックス (サービスの基本)

サービス活動は計画的に行うことで効果が上がり、NAの回復のメッセージを運んでいるグループを支援するという共通の目標に向かって活動もしやすくなる

プラニング ベーシックス

プラニング (計画を立てること) について考え方や手順を示すだけに終わらせず、進行役が押さえておくべきことやサービスの棚卸しまで視野に入れている。さまざまな地域サービスで実際に役立つプラン (計画) の立て方を示し、メンバーたちの取り組みを応援するようになっている。エリア、リージョンのほか、ゾーナルプラニング (註:日本でいうとアジアパシフィックフォーラム) にも活用できる。

PR (広報活動) ベーシックス

『パブリック リレーション (広報) ハンドブック』の大筋のところがわかるようになっている。これを読んで、まず P R (広報) のさまざまな側面について初歩的なことを理解し、さらに詳しいことを知るには『 P R (広報) ハンドブック』を活用するとよい。

H&I (病院施設) ベーシックス

これは、『ベーシック H & I (病院施設) ガイド』にある内容を更新したものである。ここには、H & I (病院施設)のサービス活動で「すべきこと」と「してはいけないこと」をはじめ、『H & I (病院施設) ハンドブック』にある現実的な手段が収められている。

ここで紹介したサービスの実用書はすべて、 N A のホームページで購入できる。 www.na.org/?ID=OrderLiteratureOnline-content

なお、このホームページでは閲覧、利用、ダウンロードも可能である。

『H&I(病院施設)ベーシックス』および『PR(広報活動)ベーシックス』

www.na.org/?ID=PR2

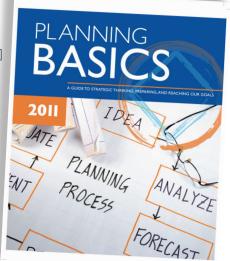
『プラニング ベーシックス』

www.na.org/?ID=handbooks-handbook-index



『出る杭(くい)は打たれる』ベン・C(アメリカ合衆国/メリーランド)





「私たちの未来像」に投資しよう



私たちに希望や志があるのは大事だが、では実際に何をす るのか。それこそが問題なのだ・・・私たちはナルコティクス アノニマスを支えていくことで感謝の気持ちを行動にあらわす。 そうでなければ「自分が手にしたものは、 手渡すことによってし が自分のものにならない」というNAの信念は、 なんの意味も ないものになってしまうからだ。

IP # 24 『マネーマターズ : セルフサポート イン N A 金の問題 : NAの経済的な自立)』

Aのサービスにたくす未来」では、基本とな ることがいくつかある。 そのひとつ、「世界中 のアディクトがみな、自分の話す言葉でわか りやすく書かれた NA のメッセージを目にする機会に恵ま れ、それが新しい生き方にふみだすきっかけになること」 は、私たちの願いを伝えるものだ。これは、単にNA の 12 番目のステップと 5 番目の伝統に密接に関わると いうだけではなく、 N A で助かったアディクトたちにはとて もひとごととは思えないことであるため、どうしても基本と ならざるをえない。 ワールドサービスにいると、 このことを 痛切に感じているメンバーが少なくないのがわかる。 しっ かり活動しているNAの心あるメンバーたちがワールド サービスに伝えてくれることのなかには、よその国や地域 のNAを応援したいという気持が読み取れるからだ。

このような思いは、世界のどこかで自然災害があった 場合にひときわ強まる。 たとえば、 ハイチやチリや日本 を襲った大地震、アメリカ中西部での洪水、あるいは ハリケーンによる被害などのときがそうだ。 試練のときに は、仲間たちの力になろうとしてNA全体がひとつにま とまることは、 N A の一体性にみられる美しい面のひと つである。 これについては、NAの『伝統1』で語られ、 さらに『私たちの未来像』でも「世界中のNAのサー ビス機関が心をひとつにして協力し合っている」として伝 えられている。

だが、メンバーたちの声が届くのは、災害や悲劇のあったときだ けとはかぎらない。メンバーたちが世界のあちこちへ旅をして、 N Aが小さくて苦労しているところや、 あるいはNAが存在しないと ころへ行くこともある。 そして、 このようなところにいるアディクトた ちが回復の機会に恵まれるようにするために、 自分が役に立てる ことはないものかと、 いったん帰国してからワールドサービスに手紙 をかく。それもまた、私たちの未来像を現実のものにできるように、 なんとか力になりたいという気持ちがあってのことだ。

まだグループもできていないところへNAのメッセージを運ぶという 課題は、 私たちにとってつねに大変な試みとなる。 そこで使われ ている言語に対応する翻訳文献がこちらにない場合に、 困難の 度合いが増すからだ。 N A がないところで一からミーティングを始 めるのに最も効果的な戦略は、 近隣地域に定着したNAのメ ンバーたちにまかされることが多い。 広報活動に参加して、 NA のことを広く伝えてもらうのだ。これに対してワールドサービスでは、 近隣のNAからワールドプールに登録されている資源を活用する こともできるし、 そうでない場合には、 NA誕生の取り組みが近 隣のNAによるイベントと重なるように取りはからうこともできる。

NAWSの予算では、かなりの部分がNA誕生の取り組み に割り当てられている。 そのなかには、 誕生しつつある N A に輸 送される文献を無料で援助する費用だけでなく、機会あるごとに 支援と援助を提供するための具体的な取り組みにかかる費用も



含まれている。このような支出はここ数年で増加の一途をたどり、 2009 年から 2010 年の年度会計では 300 万ドル近くにまで 達した。 文献の翻訳にかかる費用を除いてなお、 これだけの数 字になっている。

ある地域にNAを誕生させるといっても、メンバーたちが現地に出向いてミーティングを始めるだけで実現できることではない。メンバーたちが力になれる最も良い方法は、NAWS (NAワールドサービス) に対して自分たちができる援助をおしまないということにつきる。それによってこちらが、ある国に文献を提供するとか、ある国でミーティングを始めるとか、特定の目的で資金を割り当てることはできないとしても、世界中に広がるNAの成長を見守りながら成長の度合いを測り、それに応じてNAを誕生させる取り組みに狙いを定めるのは、NAワールドサービスでなければできないことだ。つまり、グループもメンバーも自分たちの献金によって具体的にどこかの地域にあるNAを援助するように頼むわけにはいかないが、それでも金額の大小にかかわらず、NAワールドサービスに献金すれば「私たちの未来像に投資する」ことができるのだ。それがわかっていれば、みなさんも安心だろう。



NAメンバーなら一度NAワールドサービスに献金してみよう。 もちろん、こちらでは一度と言わず、何度でも受けつけている。



NAWSの予算では、かなりの部分がNA誕生の取り組みに割り当てられている。ある地域にNAを誕生させていく場合に、メンバーたちが力になれる最も良い方法は・・・・・NAWS(NAワールドサービス) に対して自分たちができる援助をおしまないということにつきる。

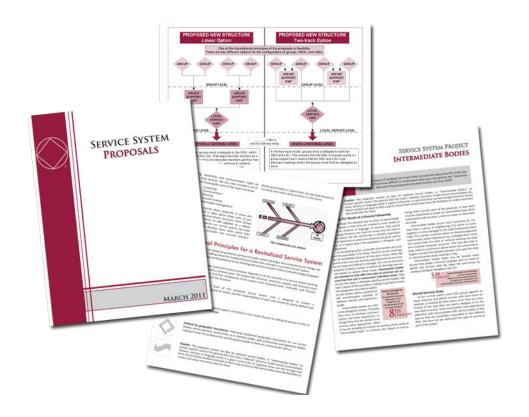


サービスシステムプロジェクト 最新情報

サービスシステムプロジェクトについては、 今月号で新たに報告すること はたいして多くない。3月には、改革案の修正が行われた。今回の修 正草案をはじめ、それに対するセッションプロファイルやパワーポイントによる 概要説明など、プロジェクトに関する全資料が www.na.org/servicesystem に掲載されている。 このウェブページでは、 6 月に開かれたワー ルドボードとサービスシステム ワークグループとの合同会議で出された案のほ か、最新情報が公開されることになっている。

みなさんにはひきつづき、このプロジェクトのことを広く伝えていただくよ うお願いする。 2012 年のカンファレンス アジェンダ レポートには、 同年 4月のワールドサービス カンファレンスで票決される改革案に関する一連の 「原則的合意」が盛り込まれる。この一連の合意が取りつけられた場合 には、2012年から2014年までの2年間に何らかの形でワークグループ のひきつぎが行われるため、 そのプロジェクトプランがワールドボードによって 提示される。

詳しいことや最新情報については、 ウェブページをご覧いただきたい www.na.org/servicesystem



FROM SANDIEGO, CALIFORNIA

4 SEPTEMBER 2011

Narcotics Anonymous

NA members around the world will come together to share our recovery, diversity, and unity during the closing **Sunday morning meeting** of WCNA 34. Individual members, groups, area/regional functions, and institutions can join in celebration of World Unity Day.

vorld

In the Spirit of Unity Join us...

Within the US and Canada, the two-hour live telephone hookup cost is \$50. One free hookup will be provided for each region outside of the US and Canada. Specific event time will be announced in the near future. To plan and register your event, download the registration form, or to get more details:

> www.na.org/wcna34/unityday 818.773.9999 x149

Unity Day telephone hookup registrations must be received by 1 August 2011.











ホームグループで NAのロゴ入りTシャツを つくってもいいかな?

この不況で失業してしまった。 N A のキータグ掛けや 飾りボードなどを手彫りでつくり、 エリアのメンバーやグループに売って 家族を養えればと思うのだが、 かまわないだろうか?

・・・・・・ について こちらで書いている記事に N A 文献の 『ナルコティクス アノニマス』 から 第1章の一部を転載したいため、 許可がいただければと ご連絡した次第です。

友だちのためにつくっている 刺しゅうの壁掛けに N A のロゴを入れても いいかしら?

FIPT?

おかげさまで、NAWayマガジンの『メンバー紹介』には多くの応募があった。しかし、実際 に応募作品が寄せられてみて、NAには「フェローシップ インテレクチュアル プロパティ トラスト (FIPT フェローシップの知的財産委託) 」というものがあるのを知らないメンバーもいることがわかった。 これを機に、FIPT のことをきちんと伝えておくのも悪くはないだろう。

NAワールドサービスは 1993 年以降、フェローシップ承認によるNA文献の出版と、NAの 著作権および商標権の保護に対する全責任をNA全体からゆだねられてきた。 このような合意によ るもろもろの権利と責任は、『フェローシップ インテレクチュアル プロパティ トラスト (フェローシップ知 的財産委託)』で概説されている。

NAの文献とロゴマークは、NA全体の所有物だ。NAでは、このようなNAに著作権と商 標権があるものを (意図的であるなしにかかわらず) 誤用や悪用されないように、FIPTによって 保護することをNAWS (NAワールドサービス) の責務としている。NAの財産が保護されれ ば、役立つ資源やサービスがNAで利用できるようになる。それを確実にするのが、FIPTの目的 なのだ。このため、NAワールドサービスには、世界各地のメンバーやグループ、サービス機関から NAの著作権侵害について定期的に知らせが入る。そのなかには、メンバー (そして、メンバーで はない人) による単に法律を知らないための侵害もある。だが、法律のことを知っていても、NA 全体の決定に納得できない人々がいたり、一儲けしたい人々がいたりすれば、 NAの所有物が悪 用されることになるのだ。このような問題が発覚した場合、私たちはなるべく事を荒立てずに解決しよ うと努力している。 NAメンバーのみなさんも、ひとりひとりがNAの所有物の不正使用は「認めない」 ことで、こうした取り組みに協力していただけるとありがたい。

実際に、NAの商標権を保護することは困難であることが多い。 なにしろ、NAメンバーたち はNAグッズが大好きときてる。これでは不正使用を見きわめるのはむずかしい。だから私たちは、 NAの文献だけでなく、 NAという名称とロゴマークもNAの所有物としてNA全体でずっと管理し ていけるようにした。 そうすることで、 AA (アルコホリクス アノニマス) の経験 (たとえば、 AA ではすでに、三角形と円からなるAAのロゴマークの所有権を失ってしまったこと) を無駄にしないよ うにしたのだ。 ちなみに、N A の商標 (トレードマーク) を使用するにあたり、N A のグループやワー ルドサービスに登録されているエリアやリージョンであれば、 使用制限はゆるやかになっている。 NAの 商標 (トレードマーク) には「ナルコティクス アノニマス」という名称が含まれている。 これは、 N Aという仲間の集まりのあり方を示し社会に広く伝える世界共通の名称であり、サービスの精神を象 徴するロゴでもある。この商標 (トレードマーク) の右に、 円で囲まれた「R」という文字や「T M」という文字を添えれば、 NAに法的な所有権があることがわかる。 これは、 NAの商標の法 的所有権を私たちが守るひとつの方法なのだ (ただし、NAグループやワールドサービスに登録され ているエリアやリージョンによる使用を妨げるものではない)

それ以外の方法としてNAWSでは、NAのロゴマークを使用する業者にライセンスを与えてい る。たとえば、 N A グッズになるアクセサリーをつくりたいという業者がいたとしよう。 アクセサリーをつく るのは業者であっても、こちらからライセンスを与えることで、主導権もNAの商標 (トレードマーク) の所有権もNAにあることにかわらないのだ。そこで、あらためてみなさんに協力をお願いする。N Aメンバーは、ワールドサービスに登録されているサービス委員会か、ワールドサービスからライセンス を与えられた業者か、どちらかの商品でなければ購入しないようにしていただきたい。

NAワールドサービスでは、インターネットによってNAの文献が入手しやすくなるのを目指す-方、インターネット版のNA文献の著作権が侵害されないように努力している。FIPTの下では、 NAのグループやサービス委員会であっても、インターネット上でNAの文献を公開する権限はない。 しかし、現在では、NAのホームページでかなりの数の文献が閲覧可能になっていることもあり、世 界各地のサービス委員会でホームページをもっているところは、 このような資源を活用しない手はない だろう。自分たちのホームページからこちらヘリンクを張ったり、こちらのファイルをそのまま自分たちのホー ムページに組み込んだりして、 積極的に利用していただきたい。 ちなみに、 NAのホームページでは 現在、40の言語に翻訳されたIP (インフォメーショナル パンフレット) 類のほかに、英語版の 『Basic Text』第6版と『It works: How and Why』の回復に関する書籍が2種類と、英 語以外のいくつかの言語に翻訳された『ベーシック テキスト』が閲覧可能になっている。 そして、 そ のほかにも、NAワールドサービスでは毎日、Eメールによる『今日だけ』の無料配信サービスを行っ ている。これは日々の黙想に役立つと、なかなか評判がよい。

ここに掲載された情報について詳しいことは、 NAワールドサービスに問い合わせるか、 NAの ホームページ www.na.org で確認していただきたい。定期刊行の『FIPT』(「委託」に関する いくつかの項目を簡潔にまとめたもの) と「フェローシップ インテレクチュアル トラスト (フェローシップ の知的財産委託)」の詳細は、www.na.org/?ID=legal-bulletins-fipt. で閲覧可能である.

Eメールで毎日配信される『今日だけ』の申し込みは、jft@na.org に配信希望のメールを 送るか、www.jftna.org/jft-subscription.htm で手続きをしていただきたい。

グループ紹介

NA Way では、さまざまな NA グループからミーティング会場の写真が送られてくるのをお待ちしている。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮いただきたい。なお、写真には、グループの名称、所在地および国名はもちろん、グループができてからどのくらいたつのか、ミーティングの形式、そして「ウチのグループならでは」のことなど、グループの紹介文を添えていただくようにお願いする。

金曜の夜、マンチェスターで

マンチェスターは、英国のイングランドにある。俺たちのグループは、そのマンチェスターで金曜の夜にミーティングをしてるんだ。つい最近写した会場の写真を見てほしい。ここには毎週、30人が集まり、ミーティングが終わるとそのままみんなで食事に行く。こういうノリは、マンチェスターのNAがかなり大きくなっていることにもよる。毎週だれかのクリーンタイムを祝っているからな。でも、それだけじゃない。俺たちはすっかりNAになじんでいるから、ミーティング以外でも仲間同士の交流を大事にしようという気持ちがあって、なんだかんだとみんなで集まっては楽しくやることが多いんだ。

Electronic subscribers can click here for an additional photo spread.

このグループには、ちゃんとした名前がない。マンチェスターのNAグループで、名前があるグループは少ないんだ。この金曜の夜のグループは、俺のクリーンタイムより長い間ミーティングを開いている。ということは、10年以上だな。スポンサーによれば、グループの歴史は25年ぐらい。ここでクリーンになって25年の人間が言うんだから、確かだろう。このエリアでいちばん長くつづいているのは月曜の夜のグループで、ミーティングを開いて27年になる。この月曜の夜のグループは2年前、25年間慣れ親しんだ会場から、別の会場に移った。

俺たち金曜の夜のグループでは今、サービスの役割が充実して、会場係、文献係、お茶の係、会計、グループの代表がそろっている。現在は(来年には変わるだろうが)、ノースウェスト イングランドとノース ウェールズからなるエリア サービス コミッティに所属して、毎月第1 土曜日に開かれる委員会に出席している。 このため、 グループのビジネスミーティング やカンファレンスは、 どうしても委員会の前か後にならざるをえないんだ。

俺は、2011年にマンチェスター エリアのミーティングにつながって以来、 貪欲なまでにサービスに関わろうとするメンバーをいやというほど見てきた。 H&I (病院施設) やPI (広報) など、どんなサービスでもみんな仲良く協力し合っていたな。 この時期には、NAにアディクトをつなげてくれる治療センターがあったので、 マンチェスターのNAは大きくなっていったんだと思う。 でも、 俺たちがNA全体として心をひとつにしてうまくやっていくことになった最大の要因というものが、ひとつあるんだ。 そのことは、他のエリアから訪れるメンバー

たちがいつも口にする。 つまり、 俺たちは ミーティング以外でも一緒に集まることが 多く、 あれやこれやとつきあいを欠かさな いんだ。 (食事をともにするのはしょっちゅうだし、 日帰りの旅行をしたり、 一日楽 しく過ごすことなんかも多い)。 だから、 みんなが仲間のひとりじゃなく、 家族って 思えるんだ。

俺たちのグループでは、ミーティングの会場費を毎週5ポンド(約8ドル)支払っている。NAの文献はつねにたくさんそろえていて、30日以上のクリーンタイムを祝うメンバーには本をプレゼントしているんだ。

スティーブ・M (英国/イングランド/マンチェスター)





Living Clean: The Journey Continues

Approval draft available

The approval draft of the book, "Living Clean: The Journey Continues," is now available. The book has been in development since the adoption of the project plan at the 2008 World Service Conference. We gathered fellowship input between June 2009 and December 2010; so, rather than seeking additional input, this approval period offers our fellowship the opportunity to read and consider the proposed text as it stands.

The vote regarding fellowship approval of "Living Clean" will take place at the 2012 WSC in April. The project plan calls for the text to be released for a one-year period in "approval form." The book will be included as an addendum in the Conference Agenda Report and will be a part of old business at the 2012 WSC.

Expressing our gratitude

The participation of so many members from across the NA Fellowship really shaped the book, and taught us the power of the prayer, "... grant us a bond of selflessness, that this may truly be Your work, not ours..." (Basic Text, Introduction) We want to extend our deepest appreciation to all who contributed to the development of "Living Clean." NA members guided the writing and revision of this book, from member contributions of source material in the beginning of the project to later stages of review and input on every chapter. "Living Clean: The Journey Continues" could not have been written without our members' participation; for your time and effort, we are deeply grateful.

How to obtain the draft

Hard copy: The approval draft may be purchased for \$8.50 (including shipping and applicable taxes), and may be ordered online by searching the online literature sales area on our website. Click on "Purchase Online Literature" from the homepage at www.na.org and use "Living Clean" as the search term. The draft will only be available as a stand-alone item until the Conference Agenda Report (CAR) is published in November 2011. After that, the draft will be part of the CAR and will no longer be available to purchase separately.

It's never too late to start over, reconnect with the fellowship, work steps, have a spiritual awakening, and find a new way to live. As long as we are willing to stay clean and keep coming back, our recovery continues to unfold in ways we couldn't imagine. We are living clean, and every day the journey continues.

"Living Clean: The Journey Continues"

Online:

Please visit the project page to access the approval draft online and for additional and updated information:

www.na.org/?ID=Living Clean Project

みなさんの…

刺しゅう木工

オリジナル・モザイク 写真 タトゥ・アート

彫刻

絵画

ショート・ビデオ

キルト

カリグラフィ

ジュエリー

イラスト

グラフィック・デザイン

編み物

…作品募集中!

A Way マガジンでは、「ホームグループ紹介」欄によって世界各国のNAグループのことがよくわかるようになったこともあり、どうせなら「メンバー紹介」もしていきたい。それには、メンバーの才能がものをいう。世界中のNAメンバーたちがアートな領域で自分を表現するのだ。みなさんの作品をぜひ、NAWayマガジンでわかちあっていただきたい。

もちろん、ここでもNAの原理が優先される。アノニミティに反するような表現は認めない。政治や宗教をはじめ「外部の問題」をテーマとする作品はご遠慮願いたい。なお、作品は高解像度写真にするか、あるいはPDF、IPG、EPSなどのファイル形式にして送るようにお願する。

Eメールによる 作品投稿

naway@na.org

NAWay ホームページ オンライン アーカイブ (インターネット上にある記録)

NAWayでは、みなさんの利用価値を高めるために www.naway.org にあるホームページを整理してきた。トップページの内容を簡略化したことで、一段と利用しやすいウェブサイトになった。ここには、NAのインターネット版定期刊行物の購読申し込みページをそのまま開けるリンクも張ってある。「バックナンバー」を「アーカイブ(書庫)」に収めたため、これまで発行されたNAWay マガジンが全部一度に読めるようになった。

とくに読みたい記事や、 投稿者、 テーマがあるときは?

今回の整理では、バックナンバーを全部、紙版のNAWay マガジンからPDFファイルに変換したものに差し替えた。(これまでは、pdfファイルのものもあれば、htmlファイルのものもあった)。「NAWay Archive (アーカイブ)」をクリックすると、過去14年間に発行された号がそれぞれの言語による翻訳版で読める。そして、ドキュメント・リーダー (異なる文書データが開けるソフトウェア) を利用すれば、キーワードや単語を入力するだけで自分の探しているものを検索できる。

記事をプリントアウトしたり、みんなで読んだり、転載したりしたいときは?

NAのグループやサービス機関であれば、自分たちのサービス活動を支えるニューズレターや資料などにNAWayマガジンの記事を転載してもよい。ただし、読んだときに転載されたものであることが必ずわかるようにしていただきたい。そのためには、NAWayマガジンに掲載されているとおりに転載したうえで、「『NAWayマガジン』の許可を得て2011年1月号より転載」など、情報源を明記するようにお願いする。

NAWayマガジンをインターネット配信によって購読しようとする読者が増えているのはうれしいことなので、NAのメンバーやグループであれば、NAWayマガジンの全ページまたは一部を自分たちでプリントアウトして読むことはもちろん、メンバー同士で読むことも、サービスに利用することも、あるいはホームグループで配布することも、まったく問題はない。念のため、自分のウェブ・ブラウザーやドキュメント・リーダーで利用できるオプションを確認していただきたい。NAWayマガジンをEメールで送れるようになっているか、それがだめなら、みんなで読むことができるようになっている。

www.naway.org





Multi-day events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at: www.na.org/events. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or The NA Way; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Australia

Victoria 5-7 Aug; Victoria Area Convention; Gasworks, Melbourne; event info: 61416879417; www.navic.net.au/news/

Rermuda

Southampton 16-18 Sep; Bermuda Islands Area Convention 7; Fairmont Southampton Princess, Southampton; hotel rsvns: 441.238.8000; www.nabermudaconvention.info

Brazil

Pará 10-13 Nov; Belém Area Sozinho Nunca Mais Convention 4; Parque dos Igarapes Eco Resort, Belém; www.ivccsabelem.com.br

Canada

British Columbia 23-25 Sep; British Columbia Regional Convention 28; Roundhouse Community Centre, Vancouver; www.convention. bcrna.ca

Nova Scotia 11-17 Jul; Annapolis Valley Area Pig Roast/Camp Out 22; Blomidon Provincial Park, Blomidon; event info: 902.692.1031

Saskatchewan 29-31 Jul; South Saskatchewan Area Unity Weekend 7; Elbow Lutheran Bible Camp, Elbow; www.ssascinc.sasktelwebsite.net

Germany

Hesse 22-24 Jul; Frankfurt International Convención; Saalbau Titus Forum, Frankfurt am Main; www.na-mitte.de

Greece

Peloponnese 9-11 Sep; Nafplio Group's "We're Here Eight Years Later"; Xeni Camping & Bungalows, Peloponnese; www.na-greece.gr

Mexico

Baja California 5-7 Aug; Area Puerto Convention 4; Hotel San Nicolas, Ensenada, BC; event info: elprimernicifore@hotmail.com

New Zealand

Napier 12-14 Aug; Hawkes Bay Fellowship Back-2-Basics Campout; Omatua Camp Rissington, Napier; www.nzna.org/documents/b2b. pdf

Norway

Sandefjord 26-28 Aug; East Area Convention 2; Breidablikk Ungdomskole, Sandefjord; www.nanorge.org/tingskjer.asp

Puerto Rico

Carolina 29-31 Jul; Región del Coguí Convención 22; Hotel Verdanza, Isla Verde; www.prna.org

United States

California 15-17 Jul; Napa/Solano Area Woman's Spiritual Retreat; Golden Pines RV Resort & Campground, Arnold; event info: NSWSR@yahoo.com

- 2) 1-4 Sep; World Convention of NA 34; San Diego Convention Center, San Diego; www.na.org/wcna
- 3) 23-25 Sep; Area de Habla Hispana Sur de California Convención 6; Culver City DoubleTree, Culver City; www.todayna.org/espanol.html

Colorado 12-14 Aug; Serenity Unlimited Area Campout; Wilson Mesa, Telluride; www.nacolorado.org

Florida 12-14 Aug; Big Bend Area Convention 14; North Monroe Conference Center, Tallahassee; www.bigbendna.org

2) 19-21 Aug; South Florida Regional Convention 17; Hyatt Regency Bonaventure Conference Center & Spa, Weston; www.sfrcna.org

3) 30 Sep-2 Oct; Tampa Funcoast Area Convention 27; Embassy Suites at USF campus, Tampa; www.tampa-na.org

Illinois 26-28 Aug; Living the Dream Area Convention 8; Abraham Lincoln Hotel & Conference Center, Springfield; Living the Dream Area; Box 1025; Springfield, IL 62705

Maryland 16-18 Sep; Tri-County Area A River of Hope 5; Lions Camp Merrick, Nanjemoy; event info: 301.751.1388; speaker tape deadline: 31 Jul; Tri-County Area; Box 613; Mechanicsville, MD 20659

Massachusetts 19-21 Aug; Cape Cod Area Fun in the Sun; YMCA Camp Lyndon, Sandwich; www.berkshirena.org

Mississippi 15-17 Jul; Mississippi Delta Area Convention 7; Holiday Inn, Batesville; www.mrscna.net

Nebraska 30 Sep-2 Oct; Nebraska Regional Convention 28; New World Inn & Conference Center, Columbus; www.nebraskana.org

Nevada 15-17 Jul; California/Arizona/Nevada Area Convention 19; Riverside Hotel & Casino, Laughlin; www.canana.org

New Jersey 19-21 Aug; First Surburban Essex Area Convention; Marriott Hanover, Whippany; event info: 201.889.6039

New York 2-5 Sep; Buffalo Area Recovery in the Woods 23; Camp Pioneer & Retreat Center, Angola; www.nawny.org

North Carolina 5-7 Aug; New Hope Area Convention 18; Sheraton Imperial Hotel & Convention Center, Durham; www.nhacna.org

Ohio 5-7 Aug; Greater Cincinnati Area Abnormal Weenie Jam 31; Kincaid Lake State Park, Falmouth; www.naohio.org

Pennsylvania 23-25 Sep; Springfield Area Convention; Holiday Inn, Springfield; hotel rsvns: 937.323.8631; http://www.naohio.org/ function%20fliers/SASCNA_Convention_2011.pdf

- 2) 29-31 Jul; First Diamonds in the Rough Women's Convention; Radisson Hotel Greentree, Pittsburgh; event info: 412.867.0394
- 3) 19-21 Aug; Little Apple Area Convention 30; Holiday Inn Conference Center, Allentown; event info: 484.201.0961
- 4) 26-28 Aug; Laurel Mountain Highlands Area Unity Retreat 15; Camp Harmony, Hooversville; www.lmhana.com/Pages/ journeycontinues.htm

South Carolina 12-14 Aug; Central Carolina Area Convention 16; Courtyard by Marriott, Columbia; www.midcarolinana.org

South Dakota 16-18 Sep; South Dakota Regional Convention 14; Ramkota Hotel Best Western, Rapid City; www.sdrna.com

Tennessee 26-28 Aug: Middle Tennessee Area Unity Convention 10: Millennium Maxwell House Hotel, Nashville; www.nanashville.org/ unity

Texas 23-25 Sep; Hourglass Group Serenity in the Sand; Travelodge SPI, South Padre Island; www.rgvareaofna.org

Utah 15-17 Jul; Utah Regional Campvention 28; Whiting Campground, Mapleton; www.cuana.org/FLYER/campvention.pdf

Vermont 18-21 Aug: Green Mountain Area Back to Basics Campout 27; Wallingford Boys Camp, Wallingford; www.gmana.org

Virginia 15-17 Jul; Blue Ridge Area Campout 30; Natural Chimneys Campground, Mount Solon; branacampout.org

2) 5-7 Aug; Almost Heaven Area Convention 25; 4H Educational Center, Front Royal; www.na2day.tripod.com/index.htm

Washington 5-7 Aug; Tri-Cities Area Summer Sizzlers 23; Red Lion Hotel Richland Hanford House, Richland; www.3citiesna.org

Wisconsin 30 Sep-2 Oct; Wisconsin State Convention 28; Radisson Paper Valley Hotel, Appleton; www.wsnac.info

NAWS PRODUCT UPDATE

"Living Clean: The Journey Continues"

Approval Draft Item No. 9146 Price US \$8.95



FORECAST

Planning Basics

Contains an explanation of planning, planning steps, a facilitator's outline and service inventory. Item No. 2116 Price US \$1.85



Heat-Sensitive Mug

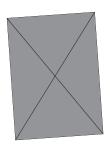
Item No. 9416 Price US \$15.75



Wallet Readings Card

Updated to include "Just for Today" and "We Do Recover," which are published in our regular Group Reading Cards set.

Item No. 9127 Price US \$2.40



Danish

Just for Today Bare for i dag

Item No. DK-1112 Price US \$8.10

In Times of Illness I perioder med sygdom Item No. DK-1603 Price US \$2.90



IP No. 10 Fjerde Trins-arbejde *i Narcotics Anonymous*

Item No. DK-3110 Price US \$0.70

Italian

Disruptive and Violent Behavior

Comportamenti violenti e destabilizzanti

Item No. IT-2204 Price US \$0.22



Japanese

It Works: How and Why

なぜ どのように:果があるのか Item No. JP-1140 Price US \$8.10

Latvian

IP No. 12

Apsēstības trīsstūris

Item No. LV-3112 Price US \$0.22

IP No. 19 Sevis pienemšana Item No. LV-3119 Price US \$0.22

IP No. 22 Laipni lūgts Anonīmo Narkomānu sadraudzībā

Item No. LV-3122 Price US \$0.22



Norwegian

The Group Booklet

NA-gruppen

Item No. NR-1600 Price US \$0.85

















Coming soon

For release dates, please check our online Product Catalog:

www.na.org/?ID=catalog-products

Tri-Plate Medallions

To celebrate recovery milestones, four new striking color combinations will be available in September: gold/pearl, violet/pearl, translucent green/pearl, and orange/black.

Price US \$21.30



New and Improved Acrylic Medallion Holders

New design includes pin-closure <u>and</u> 3 interchangeable, 2-sided artwork backgrounds, (inspired by WCNA 32 & 34, and recovery language like serenity, love, courage, etc.).

Displays front and back of medallion.

Item No. 6099 Price US \$25:00 Price Cut! \$18.00





Hebrew

The NA Step Working Guides

סידעצה תדובעל דירדמה סיימינונא סירוכמב

Item No. HE-1400 Price US \$7.70

Italian

Just for Today **Solo per oggi**

Item No. IT-1112 Price US \$8.10



Do you know about <u>Reaching Out</u>? This quarterly newsletter is a valuable resource that provides hope and inspiration to NA members behind the walls. We offer free subscriptions to incarcerated addicts and 20-copy bulk subscriptions for \$32.60 per year to service committees.

Recently, we were pleased to introduce a new art section, featuring beautiful logos and artwork created by H&I committees, members, and ASCs. We believe NA artwork carries a powerful, creative message of recovery. If you would like to see your artwork in *Reaching Out*, send it!

Please support the efforts of *Reaching Out* through subscribing and contributing. In addition to logos and artwork, we are always looking for written submissions from members who:

- Found recovery in NA while incarcerated
- Participate in area or regional H&I service
- Provide sponsorship behind the walls

WE WANT TO HEAR FROM YOU!

Email: handi@na.org

Mail: Reaching Out; NA World Services; PO Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA













